

日本の食料危機

～食べられない日がある～



ところざわ倶楽部まつり 2023年9月27日

食を通して所沢を知る会

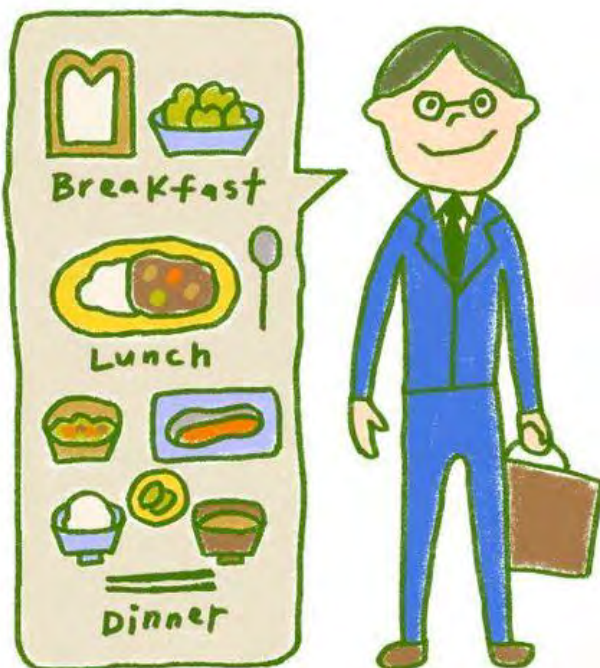
日本の食料自給率は

なぜ低いのですか？

カロリーベース

Ⅱ

生きていくために必要な
エネルギー量に換算する



〔37%〕 ⇒ 38% (2022年)

生産額ベース

Ⅱ

経済的な価値として
金額に換算する



〔63%〕 ⇒ 58% (2022年)

品目別自給率



日本の2020年実質食料自給率と2035年の推定値

(飼料とタネの海外依存度を考慮した実質：2035年は最悪のケース)

	食料国産率		飼料・タネ自給率	食料自給率	
	2020年 (A)	2035年 推定値	(B)	(A×B)	2035年 推定値
コメ	97	106	10	10	11
野菜	80	43	10	8	4
果樹	38	28	10	4	3
牛乳・乳製品	61	28	42	26	12
牛肉	36	16	26	9	4
豚肉	50	11	12	6	1
鶏卵	97	19	12	12	2

(資料：2020年は農水省公表データ。推定値は東大鈴木研究室による)

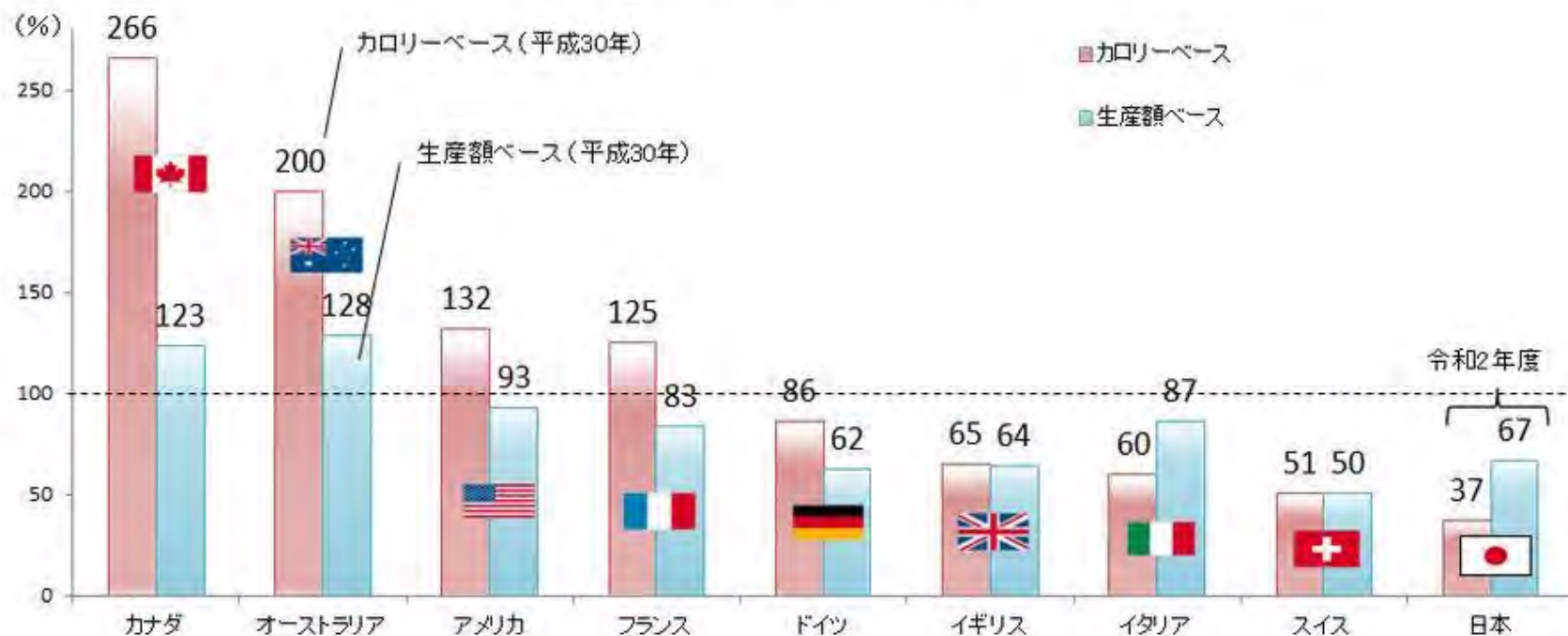
昭和40年度以降の食料自給率の推移



〔江戸時代の自給率：100%〕

世界各国の食料自給率(2018年)

○ 我が国と諸外国の食料自給率



資料：農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」等を基に農林水産省で試算。（アルコール類等は含まない）

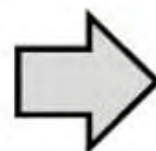
注1：数値は暦年（日本のみ年度）。スイス（カロリーベース）及びイギリス（生産額ベース）については、各政府の公表値を掲載。

注2：畜産物及び加工品については、輸入飼料及び輸入原料を考慮して計算。

農水省の目標

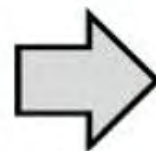
令和12年度(2030)
＜目標年度＞

生産額ベース
総合食料自給率



75%

カロリーベース
総合食料自給率



45%

⇒ 絵に描いた餅では？

どうしてこういうことに

なってしまったのですか？

食料（食糧）は安い国から買えばいい

政府の方針（=無策）

⇒ 今や食料（食糧）は金では買えない
中国などの輸入増・爆買い
貿易自由化と食生活改変政策

- ・ 米作補助金（かつての減反政策）
- ・ 人口減少と農業人口の高齢化
- ・ 農業従事者の高齢化
- ・ 農地面積が狭く、小規模で非効率な農業
- ・ 農業者の保守性 → 外部に非開放
- ・ 農地が細分化 → 大型農業ができない

⇒ 競争力が低下

「米を食うとバカになる」

(『頭脳 - 才能をひきだす処方箋』1958年)



林 麟 (慶応大学名誉教授
生理学教授) 著



米食低能論／米食否定論
※

コメをやめて小麦(=パン)



アメリカの食糧戦略？

(食料は武器より安い武器)

頭は三分の一しか使っていない……………一四六
大切な読書の習慣……………一四九

10 頭のための栄養……………一五二

眠りはこうして起こる……………一五三

ビタミン不足で気が狂う……………一五五

その日暮らしの考え方は困る……………一五七

米食国民は一步おくれる……………一五九

ビタミン補給が不可欠……………一六一

老人のボケとガンコの原因……………一六四

ビタミンEのナゾ……………一六八

〔米作問題〕(一五五) 〔ビタミンB〕(一五五) 〔ATPというもの〕

(一五五) 〔オパールリンとエンゲルガルト〕(一五五) 〔分泌と遊離〕

(一五五)

11 認識・夢・暗示……………一八〇

自然にしみこむ考えちがい……………一八〇

夢は脳の散歩……………一八二

暗示が催眠術のカギ……………一八五

12 人類の将来……………一八九

人工衛星と宇宙旅行……………一八九

月へ行く意味……………一九〇

不安定な生命……………一九二

人類は生きのこれるか……………一九五

三十年か三千年か……………一九七

むすび 生理学三十年……………一九九

あとがき(私たちの生理学教室)……………二〇四

い 伊 藤 明
さ 鶴 田 子
し え

日本の農地はなぜ

減少したのですか？

- ・農業人口の高齢化、後継者不足、若年農業者の離職、採算がとれない
(日本68.4歳、フランス51.4歳)
- ・山が多く、土地の高度利用が進まない
- ・狭い耕地を少人数で耕す、小規模で非効率な農業をやらざるを得ない。
- ・農地が細分化して、大型農業ができない

農業就業人口とその平均年齢の推移



出典:農林水産省「農林業センサス」をもとに作成

農林水産省「農業労働力に関する統計」をもとに作成

人口に比べ、農家は急激に減る



(注) 農家の戸数は三菱総合研究所、人口は国立社会保障・人口問題研究所の推計



ニワトリの雛

穀物各種のタネ



- ・日本では、多くの種、雛、飼料原料をアメリカを中心にした輸入品を購入している ⇔ **種子法廃止**の問題

⇒種はアメリカのモンサント(現独バイエル社)から購入

⇒各自治体が反対

- ・鶏の雛は主にアメリカ、カナダ、オランダからの輸入
(例: 卵の名目自給率97% 飼料輸入を加味すると
鶏卵13%、鶏肉8%、豚肉6%、牛肉12%)

- ・飼料原料 トウモロコシの自給率 0%
 大豆の自給率 25%

- ・肥料原料 窒素: マレーシア、中国
 リン酸: 中国、アメリカ
 カリ: カナダ、ロシア、ベラルーシ

種、雛、飼料は

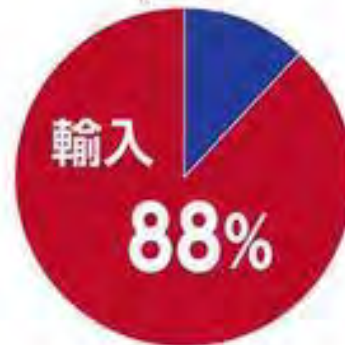
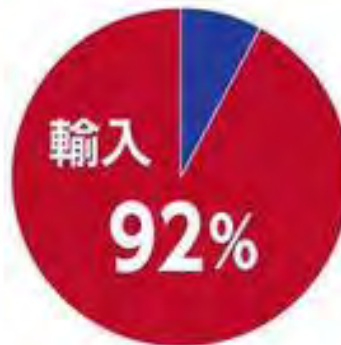
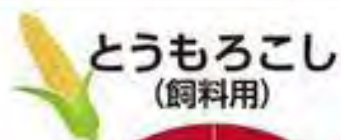
なぜ外国から

買わなければ

いけないのですか？

日本の食料自給率 **37%**

(カロリーベース・2018年度)



■ 国産 ■ 輸入



肥料原料の輸入割合



リン酸アンモニウム

ほぼ **100%**



尿 素

95%



塩化カリウム

ほぼ **100%**

(NHKクローズアップ現代 2023年8月29日)

種苗業界世界売上ランキング (単位:百万ドル)



Access to Seeds (2017)の調査結果をもとに作成

輸入肥料を使用しない農法があります

2023年7月5日に国連食糧農業機関（FAO）により、「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が世界農業遺産に認定されました。

所沢市、三芳町、川越市、
ふじみ野市にわたる三富
地区



日本政府はなぜ

食料安全保障の問題を

考えないのですか？

クアトロショックで 「世界食糧危機のスイッチが入った」

- ① 新型コロナ禍による物流網の停滞
- ② 中国の継続的な食料の爆買い
- ③ 世界的な異常気象の常態化
⇒ 食料生産の不安定化
- ④ ウクライナ戦争によるサプライチェーンの悪化・破壊

極端気象 & ウクライナ戦争

異常気象 ⇒ 「極端な気象現象」(極端気象)

⇒ 世界各地で頻発



熱波、干魃、水害、森林火災 ⇒

作物減少、家畜死滅

ウクライナ戦争 ⇒ 小麦、トウモロコシの輸出減



世界中に広がる干ばつ



世界中に広がる森林火災



大洪水の農村地域



戦争前のウクライナ農場





戦時のウクライナ





サバクトビバッタ大発生(2019~2020)

第2次安倍政権以降

農水省（農水族議員）が弱体化

国家戦略の欠如 農水大臣のレベル低下

経産省と財務省が中心で政策を牛耳り主導

自動車などの貿易自由化を優先

⇒ 農業は生贄

食料安全保障の観点⇔ アメリカの言いなり

食料危機の意識が薄い ⇒ アメリカが助けてくれる？

海外から食料を買うことができなくなる ⇒ 日本は飢える

○食料安全保障対策の概要

平素からの取組

- ・ 食料自給力の維持向上
- ・ 適切かつ効率的な備蓄の運用、安定的な輸入の確保
- ・ 国内外の食料供給に関する情報の収集・分析・提供
平素からの効率的な情報収集・発信のための省内体制を強化
- ・ 早期の警戒監視の強化
早期注意段階を新設し、情報の収集・分析の強化と、
関連業界、消費者への的確な情報発信等を実施
- ・ 事業継続計画等の策定、状況に応じた見直し等を促進

レベル0 レベル1以降の事態に発展するおそれがある場合

- ・ 食料供給の見通しに関する情報収集・分析・提供
- ・ 備蓄の活用と輸入の確保
- ・ 規格外品の出荷、廃棄の抑制などの関係者の取組の促進
- ・ 食料の価格動向などの調査・監視

レベル1 特定の品目の供給が、平時の供給を2割以上下回ると予測される場合を目安

- ・ 緊急の増産（国民生活安定緊急措置法）
- ・ 生産資材（種子・種苗、肥料、農薬）の確保（国民生活安定緊急措置法など）
- ・ 買い占めの是正など適正な流通の確保（買い占め等防止法など）
- ・ 標準価格の設定などの価格の規制（国民生活安定緊急措置法）

レベル2 1人1日当たり供給熱量が2,000kcalを下回ると予測される場合を目安

- ・ 熱量効率が高い作物などへの生産の転換
- ・ 既存農地以外の土地の利用
- ・ 食料の割当て・配給及び物価統制（物価統制令、国民生活安定緊急措置法、食糧法）
- ・ 石油の供給の確保（石油需給適正化法）

緊急事態食料安全保障指針をまとめると

(農水省2023年5月)

1日の供給量が2000kcalを下回る最悪の場合

- ・備蓄の活用する(米:約100万トン)
- ・小麦、大豆、米を増産する(既存農地以外)
- ・足りなければ最後は **イモ**



(参考)国内生産のみで2,020kcal供給する場合の一日の食事のメニュー例

朝食



茶碗1杯
(精米75g分)



粉吹きいも1皿
(じゃがいも2個・300g分)



ぬか漬け1皿
(野菜90g分)

昼食



焼きいも2本
(さつまいも2本・200g分)



蒸かしいも1個
(じゃがいも1個・150g分)



果物

夕食



茶碗1杯
(精米75g分)



焼きいも1本
(さつまいも1本・100g分)



焼き魚1切
(魚の切り身84g分)

調味料(1日分)

砂糖小さじ6杯、油脂小さじ0.6杯

(農水省作成資料)

2日に1杯



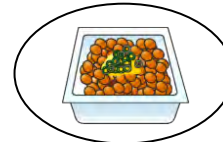
うどん
(小麦53g/日分)

2日に1杯



みそ汁
(みそ9g/日分)

3日に2パック



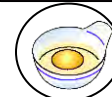
納豆
(大豆33g/日分)

6日にコップ1杯



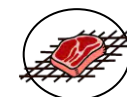
牛乳
(牛乳33g/日分)

7日に1個



たまご
(鶏卵7g/日分)

9日に1食



食肉
(肉類12g/日分)

OPFCバランス

P:12(13)、F:10(29)、C:78(58)

※()内は平成15年度の値

日本の2020年実質食料自給率と2035年の推定値

(飼料とタネの海外依存度を考慮した実質：2035年は最悪のケース)

	食料国産率		飼料・タネ自給率	食料自給率	
	2020年 (A)	2035年 推定値	(B)	(A×B)	2035年 推定値
コメ	97	106	10	10	11
野菜	80	43	10	8	4
果樹	38	28	10	4	3
牛乳・乳製品	61	28	42	26	12
牛肉	36	16	26	9	4
豚肉	50	11	12	6	1
鶏卵	97	19	12	12	2

(資料：2020年は農水省公表データ。推定値は東大鈴木研究室による)

**日本が飢えないためには
どうしたらいいですか？**

**私達にできることは？
ありますか？**

難しいかもしれないけど

- ・微力ながら、日本の現実を多くの人に知ってもらふこと
そして、政治家の意識を変えさせるための努力をすること
- ・廃棄される食品をできる限り減らすこと
- ・家庭菜園などで食料自給が大切だということを体験する
- ・多くの人に危機感をもってもらい、その意識を高めること
- ・その他、

できることはなんでもしましょう

日本の食品ロスの状況（平成30年度）

日本の「食品ロス」 約600万トン



事業系

約324万トン



家庭系

約276万トン



国民1人当たり食品ロス量

1日 約130g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に相当

年間 約47kg

※ 年間1人当たりの米の消費量
(約54kg) に近い量



資料：総務省人口推計(平成30年10月1日)
平成30年度食料需給表（確定値）

日本の農業政策に対して

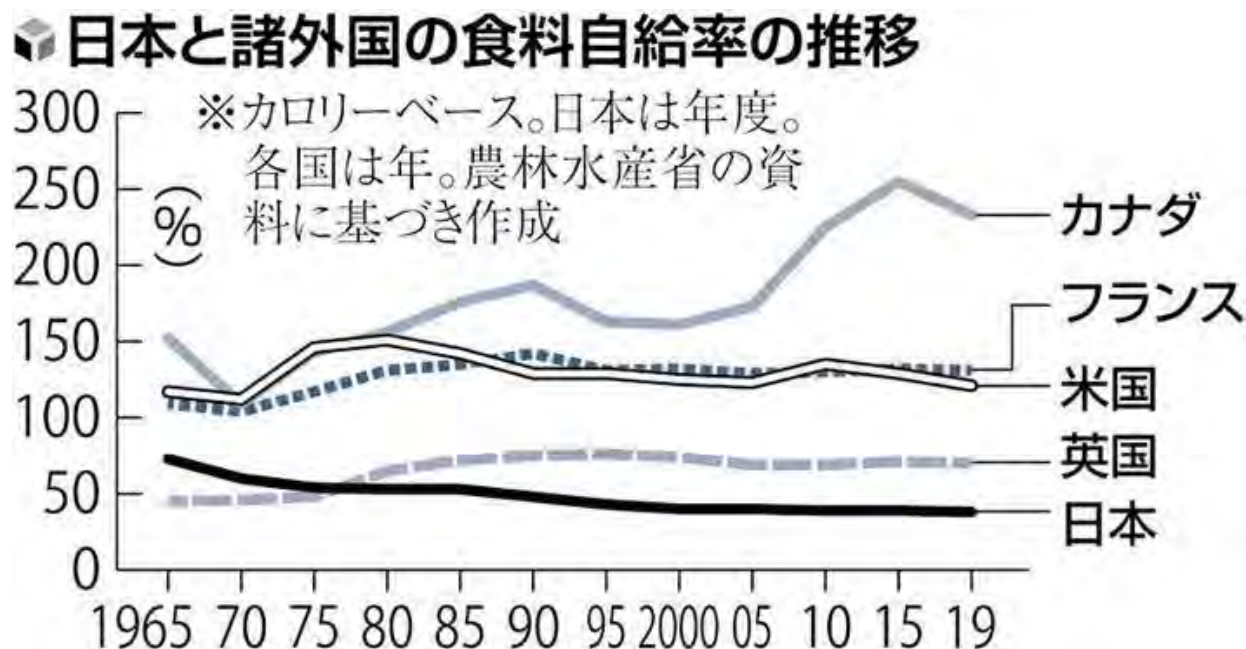
何を求めるべきですか？

- ・ **日本の将来の食料安全保障**の必要性を多くの人に訴えましょう
- ・ 欧米など食料輸出国のように、自国農産物への補助金により、農業の生産性を高め、最新技術による効率的な農業促進策を図るように訴えましょう
- ・ 米の減反政策をやめて、米の備蓄を増大し、他国との輸出入取引において、優位に立ちましょう
- ・ 耕作放棄地を利用して、小麦の増産、トウモロコシなどの飼料穀物の増産を図りましょう

最新情報（衝撃ニュース）

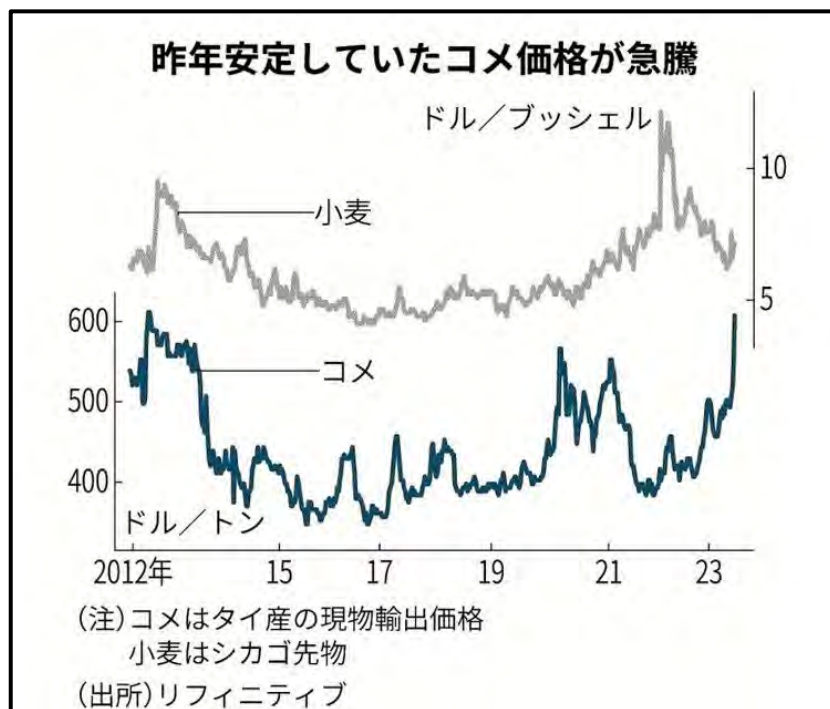
日本の食料自給率は先進国で極端に低い水準 …台湾有事で「日本人半数以上が餓死」分析も

読売新聞九州版（地域ニュース） 2023年7月27日



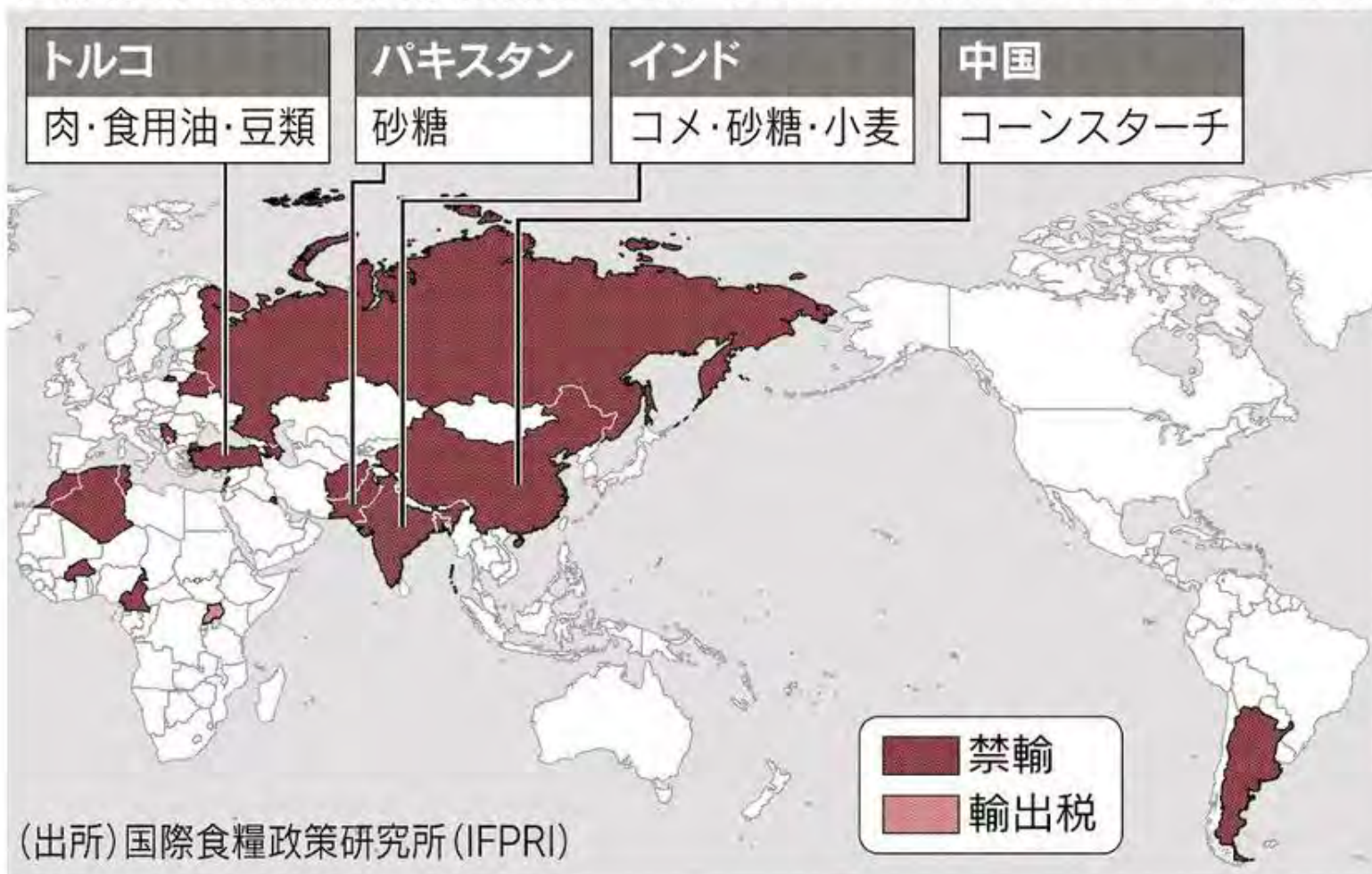
世界最大のコメ生産国インドが7月に輸出禁止を 発表したことで、国際価格は大きく上昇

(2023年8月4日 日経新聞)



最新情報（衝撃ニュース）

世界各地で輸出制限が実施されている（現在の実施国と主要国の制限品目）



（日経2023年9月12日）

世界で 最初に 飢えるのは 日本

鈴木宣弘
Suzuki Nobuhiro

食の安全保障を
どう守るか

世界で最初に飢えるのは日本
食の安全保障をどう守るか

鈴木宣弘

講談社+α新書

講談社+α新書



9784065301739



1920295009009

ISBN978-4-06-530173-9

C0295 ¥900E (0)



KODANSHA

●定価: 本体900円(税別)

世界で最初に 飢えるのは日本

食の安全保障をどう守るか

- コロナで止まった「種・エサ・ヒナ」
- 一日三食「イモ」の時代に
- 食を軽視する「経産省・財務省」
- もはや食料は金では買えない
- 日本人が知らない
危険な輸入食品
- 世界中で「土」が失われている
- あってはならない
酪農家の連鎖倒産
- 有機農業で中国にも遅れをとる
- 日本のお金が
「中抜き」される理由
- 新しい食料システムの取り組み

さて 皆さん どう思いましたか？

ひとつとではない厳しい現実が迫っています。

真剣に考えてみて下さい！